

自然分野 「地球と生命」系修得

工学部 建築建設工学科 4年 西山 知江子

副専攻を取得しようと考えたきっかけは、

①一般教養を選択する際に、ある程度まとまった知識を身につけたいとも思ったこと

②副専攻というシステムがあるのを知り、同じように学ばなら何か結果として付いてくるものにしたいと考えたことです。

取得「系」については悩みましたが、もともと地学や地球環境というものに興味があったことと、現在、環境問題が取りざたされており、専門として学んでいる建築分野にもそうしたことの配慮が求められているため、知識として得ておくことが専門分野にも役に立つのではないかと考えた結果、「地球と生命」系を選択しました。

実際に講義を受けた感想としては、私が高校までに学んだこととは異なった、より専門的な視点からの知識や、講義をしていただく先生の考え方等を集中的に学ぶことによって、自分の知識として深まり、他の系よりも詳しくなったと感じます。また、専門の講義が多くなる大学という場の中で、違う分野をたくさん学べたということに充実感を感じます。

しかし、取得したことによって、何か優遇される等はありませんし、先生方も、一般教養としての講義になりがちなので、本当に副専攻といえるほどの知識を得ているのだろうかということは疑問にはなります。副専攻を取得したことを公言する枠には至らないのではないかと感じます。また、定員の関係上、希望した講義を取れるとは限りませんし、うまく取れなければ、途中であきらめなければならないこともあるのではないかと思います。

とはいえ、自分自身、その「系」の知識が深くなったことは事実ですし、専門の講義や、就職の際に役に立ったこともあります。また、自己満足なのかも知れませんが、取得したということに自分なりに達成感を感じています。(実際に成績証明書に記入されますし)

様々な考え方や問題点はあると思いますが、折角このようなシステムがあるのだから利用する価値はあるのではないかと思います。